

平成25年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年7月31日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 夢テクノロジー

コード番号 2458 URL <http://www.yume-tec.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 佐藤 真吾

問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長

(氏名) 金子 壮太郎

TEL 03-5940-2215

四半期報告書提出予定日 平成25年8月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年9月期第3四半期の業績(平成24年10月1日～平成25年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年9月期第3四半期	2,632	△7.8	203	△1.7	278	25.6	255	19.2
24年9月期第3四半期	2,855	△11.0	207	93.9	222	107.6	214	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年9月期第3四半期	4,478.64	—
24年9月期第3四半期	3,758.91	3,756.12

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年9月期第3四半期	2,761	1,741	63.0
24年9月期	2,433	1,475	60.5

(参考) 自己資本 25年9月期第3四半期 1,738百万円 24年9月期 1,472百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年9月期	—	2,000.00	—	—	—
25年9月期(予想)	—	—	—	2,000.00	4,000.00

(注)直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年9月期の業績予想(平成24年10月1日～平成25年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,500	△6.6	240	△4.0	310	14.4	270	5.7	4,726.89
	~3,600	~△3.9	~270	~8.0	~340	~25.5	~300	~17.4	~5,252.10

(注)直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無になります。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は[添付資料]P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年9月期3Q	57,120 株	24年9月期	57,120 株
----------	----------	--------	----------

② 期末自己株式数

25年9月期3Q	— 株	24年9月期	— 株
----------	-----	--------	-----

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年9月期3Q	57,120 株	24年9月期3Q	57,105 株
----------	----------	----------	----------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予測数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、様々な要因によって大きく異なる可能性があります。上記予測数値に関する事項につきましては、[添付書類]P. 3「(3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第3四半期累計期間 .....	5
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	6
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	6
(5) セグメント情報等 .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間における我が国経済は、円安傾向による輸出環境の改善や、昨年12月の新政権発足後の緊急経済対策及び金融緩和の強化などの政策が次々に打ち出されたこともあって、緩やかに持ち直しております。

一方、世界経済においては、米国経済は本格的な回復基調に向かっているものの、量的金融緩和政策の出口戦略が明確に示されず、また、依然として欧州諸国での財政問題や新興国での景気減速が続くなど、世界経済全体は先行き不透明な状況が続いております。

当社の顧客企業が属する自動車・電気機器・半導体等の製造業界におきましては、人材派遣の実稼働者数の減少傾向が依然として続いておりますが、一部業種や一部地域では次第に増加に転じてきており、リーマンショック以降続いていた減少傾向は底を打ちつつあります。また、情報系エンジニアの派遣先となるIT業界においては、前期より引き続き、各企業のシステム投資が持ち直しの動きをみせております。

このような事業環境の下、国内外の経済環境の今後を注視しつつ原点に立ち返り、現状の労働市場における顧客企業や求職者のニーズを見極め、付加価値の高い人材サービスを提供することで、よりニーズに沿った人材サービスの提供に努めてまいりました。また、余剰資金の一部を復興需要により成長が見込まれる株式への投資をする事により効率的な資金運用を進めてまいりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の経営成績は、売上高は2,632百万円（前年同期比7.8%減）、営業利益203百万円（前年同期比1.7%減）、経常利益278百万円（前年同期比25.6%増）、四半期純利益255百万円（前年同期比19.2%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する定性的情報

#### ①資産、負債及び純資産の分析

当第3四半期会計期間末における総資産の残高は2,761百万円（前事業年度末は2,433百万円）となり328百万円増加いたしました。

##### (流動資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産の残高は2,043百万円（前事業年度末は1,920百万円）となり123百万円増加いたしました。

主な要因は、現金及び預金の増加によるものであります。

##### (固定資産)

当第3四半期会計期間末における固定資産の残高は717百万円（前事業年度末は513百万円）となり204百万円増加いたしました。

主な要因は、投資有価証券の増加によるものであります。

当第3四半期会計期間末における負債の残高は1,019百万円（前事業年度末は957百万円）となり62百万円増加いたしました。

##### (流動負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債の残高は528百万円（前事業年度末は569百万円）となり41百万円減少いたしました。

主な要因は、賞与引当金の減少によるものであります。

(固定負債)

当第3四半期会計期間末における固定負債の残高は491百万円（前事業年度末は388百万円）となり103百万円増加いたしました。

主な要因は、長期借入金及び固定負債その他の増加によるものであります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産の残高は1,741百万円（前事業年度末は1,475百万円）となり265百万円増加いたしました。

主な要因は、四半期純利益の計上に伴う利益剰余金の増加及びその他有価証券評価差額金の増加によるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

当第3四半期累計期間の業績は、概ね計画通り進捗しており、平成25年9月期通期の業績につきましては、平成25年4月30日付「業績予想の修正に関するお知らせ」から変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

固定資産の減価償却の算定方法

定率法を採用しているものについては、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分する方法としております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期会計期間より、平成24年10月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年9月30日)	当第3四半期会計期間 (平成25年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,153,513	1,415,574
受取手形及び売掛金	468,496	463,892
預け金	125,302	73,145
その他	173,026	91,337
貸倒引当金	△141	△49
流動資産合計	1,920,198	2,043,900
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	3,998	2,715
工具、器具及び備品（純額）	6,765	9,607
有形固定資産合計	10,764	12,323
無形固定資産		
投資その他の資産	27,195	17,912
投資有価証券	443,853	657,377
敷金及び保証金	30,720	29,051
その他	614	871
投資その他の資産合計	475,188	687,300
固定資産合計	513,148	717,536
資産合計	2,433,347	2,761,436
<b>負債の部</b>		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	40,000	60,000
未払金	57,924	33,324
未払費用	236,568	237,614
未払法人税等	17,484	16,792
未払消費税等	26,328	21,407
賞与引当金	114,993	62,973
その他	75,952	95,894
流動負債合計	569,251	528,007
固定負債		
長期借入金	130,000	180,000
退職給付引当金	254,959	263,265
その他	3,267	48,671
固定負債合計	388,226	491,936
負債合計	957,478	1,019,943
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	869,650	869,650
資本剰余金	346,606	346,606
利益剰余金	297,027	438,607
株主資本合計	1,513,284	1,654,864
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△40,557	83,486
評価・換算差額等合計	△40,557	83,486
新株予約権	3,142	3,142
純資産合計	1,475,869	1,741,492
負債純資産合計	2,433,347	2,761,436

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年6月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年6月30日)
売上高	2,855,506	2,632,817
売上原価	2,130,150	2,019,915
売上総利益	725,356	612,901
販売費及び一般管理費	518,158	409,189
営業利益	207,198	203,712
営業外収益		
受取利息	1,647	120
受取配当金	2,471	6,629
投資有価証券売却益	12,359	59,605
貸倒引当金戻入額	3,981	92
助成金収入	2,133	4,424
その他	1,299	9,093
営業外収益合計	23,892	79,965
営業外費用		
支払利息	2,552	2,124
支払手数料	3,863	—
その他	2,502	2,619
営業外費用合計	8,918	4,743
経常利益	222,172	278,933
特別損失		
固定資産除却損	545	—
訴訟関連損失	—	640
特別損失合計	545	640
税引前四半期純利益	221,626	278,293
法人税、住民税及び事業税	6,974	22,473
法人税等合計	6,974	22,473
四半期純利益	214,652	255,820

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第3四半期累計期間（自 平成23年10月1日 至 平成24年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	エンジニアアウトソーシング事業	N&Sソリューション事業	ビジネスソリューション事業	
売上高				
外部顧客への売上高	2,451,271	370,289	33,946	2,855,506
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	2,451,271	370,289	33,946	2,855,506
セグメント利益又は損失(△)	184,006	29,016	△5,823	207,198

(注) セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期累計期間（自 平成24年10月1日 至 平成25年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	エンジニアアウトソーシング事業	N&Sソリューション事業	ビジネスソリューション事業	
売上高				
外部顧客への売上高	2,213,918	418,898	—	2,632,817
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	2,213,918	418,898	—	2,632,817
セグメント利益	156,350	47,362	—	203,712

(注) セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。